

問題集 初学者問題集

下記の問題について、選択肢のいずれかに○を付けて教えてください。

問 1

【要介護認定の基本設計】() に当てはまる言葉を選んでください。

要介護認定は、一次判定ソフトによる判定から、介護認定審査会における認定まで、原則として、() の判断によって審査が行われる。

答え

	身体的能力
	身体の状態像
	介護の手間

問 2

【評価軸】

次のうち、介助の方法で評価する基本調査項目はどれですか。

答え

	起き上がり
	歩行
	金銭の管理

問 3

【特記事項】

介護の手間の平均的な出現頻度の記載方法について、もっとも適切なものは次のどれですか。

答え

	頻繁に
	週 2 回
	ときどき

問 4

【能力】基本調査で、どの選択肢を選択すればよいですか。

「寝返り」「起き上がり」「歩行」などを、習慣的に体を支える目的ではなく、自分の体の一部を支えにして、行うことができる（支えにしないとできない）。

答え

	つかまらないでできる
	何かにつかまればできる
	できない

問 5

【介助の方法】正しければ○、誤っていれば×を選択してください。

一部介助を選択する場合でも、具体的な介護の手間には個人差があるため、特記事項に介護の手間と頻度を記載する。

答え

	○
	×

問 6

【介助の方法】() に当てはまる言葉を選んでください。

基本調査では、「一定期間」() の状況において、より頻回に見られる状況に基づき選択する。(つめ切りを除く。)

答え

	調査日より概ね過去 1 週間
	調査日より概ね過去 2 週間
	調査日より概ね過去 1 か月

問 7

【有無（麻痺等、拘縮）】

実際に試行した状況と、介護者から聞き取りした日頃の状況が異なる場合の選択方法について、正しいものはどれですか。

答え

	常に、実際に行った結果で選択する
	常に、聞き取りした状況で選択する
	常に、より頻回に見られる状況に基づき選択する

問 8

【有無（BPSD 関連）】基本調査で、どの選択肢を選択すればよいですか。

場面や目的から見て不適当な行動が 2 日に 1 回あるが、介護の手間が発生していない。

答え

	ある
	ときどきある
	ない

問 9

【1-4 起き上がり】基本調査で、どの選択肢を選択すればよいですか。

体を支える目的ではなく、習慣的にベッド上に手をつけて起き上がる。

答え

	つかまらないでできる
	何かにつかまればできる
	できない

問 10

【1-7 歩行】基本調査で、どの選択肢を選択すればよいですか。

調査当日に試行したところ歩けなかったが、家族の話では日頃は5m程度ならつかまらずに歩けるとのことである。

答え

	つかまらないでできる
	何かにつかまればできる
	できない

問 11

【1-8 立ち上がり】基本調査で、どの選択肢を選択すればよいですか。

自分の体の一部を支えにして立ち上がっている（支えにしないと立ち上がれない）。

答え

	つかまらないでできる
	何かにつかまればできる
	できない

問 12

【1-12 視力】（ ）に当てはまる言葉を選んでください。

「視力」は、（ ）かどうかで評価する。

答え

	見える
	見えないことで日常生活上支障がある
	見えないことで介助が発生している

問 13

【1-10 洗身】基本調査で、どの選択肢を選択すればよいですか。

週に3回、デイサービスで入浴し全介助にて洗身を行い、残りの4日間は入浴機会がない。（ただし、不適切な状況にはないものとします。）

答え

	行っていない
	一部介助

	全介助
--	-----

問 14

【2-2 移動】正しければ○、誤っていれば×を選択してください。

室内の移動について、離れた場所から見守っているため「見守り等」を選択した。	
---------------------------------------	--

答え

	○
	×

問 15

【2-4 食事摂取】基本調査で、どの選択肢を選択すればよいですか。

中心静脈栄養のみで、経口での食事は全く摂っていない。(ただし、不適切な状況にはないものとします。)	
---	--

答え

	介助されていない
	見守り等
	全介助

問 16

【2-5 排尿】基本調査で、どの選択肢を選択すればよいですか。

おむつを使用しており、自分で準備から後始末まで行っている。(ただし、不適切な状況にはないものとします。)	
--	--

答え

	介助されていない
	見守り等
	全介助

問 17

【1-1 麻痺等の有無】

次のうち、麻痺について該当部位を「ある」と選択するのはどれですか。(確認動作と日頃の状況は同様と考えてください。)	
---	--

答え

	深部感覚の障害等で運動にぎこちなさがあるが、確認動作が行える
	補装具（義足など）を使用している場合で、使用している状況では確認動作が行えるが、使用していないと確認動作が行えない
	パーキンソン病で随意的な運動機能が低下し、確認動作が行えない

問 18

【1-2 拘縮の有無】基本調査で、どの選択肢を選択すればよいですか。

日頃より、肩関節は他動的に動かせば動くが、自分では関節の動く範囲に制限がある。

答え

	肩関節
	その他
	ない

問 19

【4-5 同じ話をする】() に当てはまる言葉を選んでください。

基本調査の選択肢の選択では、単に同じ話をするのではなく、() かどうかで選択する。

答え

	場面や目的から見て不適切な行動がある
	介護の手間が発生している
	周囲が迷惑している

問 20

【過去 14 日間にうけた特別な医療 (ストーマ (人工肛門))】

ストーマについて、次のうち、「ある (該当する)」を選択するものはどれですか。

答え

	医師による消毒
	家族による消毒
	本人と家族による消毒